

福岡県薬物乱用防止啓発サイトについて



福岡県保健医療介護部薬務課

啓発サイト作成の背景

若年層における薬物乱用の現状

- ・危険ドラッグの使用が疑われる救急搬送事例（福岡県集計）の約7割が20代以下の若年層
 - ・大麻事犯の検挙者の約半数は20代以下の若年層
- しかし、
- ・高校までは薬物乱用防止教室等で薬物乱用について学ぶ機会があるが、高校卒業後は学ぶ機会が少ない。



学生等の若年層に薬物の危険性等を学んでもらうため、
福岡県薬物乱用防止啓発サイトを作成
(URL : <http://www.no-drugs-fukuoka.jp/>)

主な掲載内容

薬物に関する情報

薬物に関する相談窓口

同世代からのメッセージ

啓発資料貸出・ダウンロード

薬物に関する情報

覚醒剤や大麻、危険ドラッグなどの乱用薬物が心身等に与える影響などについて解説（解説動画も掲載）

乱用薬物の種類

薬は使い方が正しければ、人間にとって、とても役に立つものです。
しかし、薬を医療目的以外に使ったり、医療目的の薬を不正に使ったりすることを薬物乱用といえます。
たとえ、1回1回分の使用でも乱用です。

乱用薬物には、粉末、液体、錠剤などのように、さまざまな形があります。
薬にもえる影響によって、大きく三つのタイプに分けられます。

1 脳を興奮させるタイプ



覚醒剤
別名:「スピード」「エス」「アイス」「ヤセ薬」
日本で最も多く出回っている薬物で、中毒性や依存性が強く、非常に危険。

写真提供: 九州厚生労働局健康課



コカイン
別名:「スノー」「コークベース」
南米原産の coca の葉から作られ、とても強い作用を持つ強力な薬物

写真提供: ...

2 脳を麻痺させるタイプ



危険ドラッグとは？

危険ドラッグは、法律の規制が及ばないかのように「合法ハーブ」や「合法アロマ」などと呼ばれ、あたかも身体に悪い影響がなく、安全であるかのように見せかけて販売されています。
しかし、麻薬や覚醒剤などと類似した成分が含まれており、麻薬などよりも強力な作用を持つ製品もある大変危険な薬物です。死亡例も多数報告されています。
また、幻覚や興奮作用により、他人に危害を加えたり、交通事故などを起こす例も多数報告されています。
麻薬や覚醒剤より安く、インターネットなどで手に入りやすいため、若者を中心に広がっていますが、好奇心や軽い気持ちで使用すると一生を台無しにする恐ろしい薬物です。



植物性「お薬箱」タイプとして販売



液体「アロマ」タイプとして販売

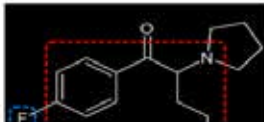
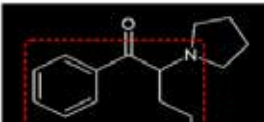
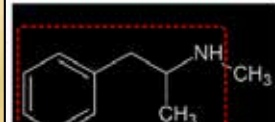


錠剤「バスケット」タイプとして販売

パッケージのデザインやカラフルな包装などから、危険な薬物に見えないため、まわりの人から「かっこいい」といわれるものを持ってしまいがちですが、中身は何が入っているかわからない大変危険なものです。

危険ドラッグはなぜ危険？

危険ドラッグの製造業者は、麻薬や覚醒剤などの規制された成分の化学構造を少し変化した化学物質を使って危険ドラッグを作っています。化学物質は構造を少し変化しただけでも人体への作用が大きく変わることもあるため、危険ドラッグの中には麻薬や覚醒剤よりも強い危険な物質が含まれていることがあります。



薬物に手をだすと...

薬物には、薬が切れた時に生じる不快感に耐えられなくなり、続けて使わないといけなくなる「依存性」と、繰り返し使っているうちに用量が増えていく「耐性」があります。
薬物をやめたくてもやめられなくなり、薬物によって、

一度の使用でも命を落とすこともあります。



がでなくなります。
従来の夢よりも薬物を優先するようになって、さまざまなトラブルを起こしてしまいます。
こともあり、家庭や社会へ悪影響を及ぼします。
を引起こすこともあります。

動画（解説編・ドラマ編）



薬物乱用防止解説映像



薬物乱用防止ドラマ

薬物に関する相談窓口

薬物に関する県内の相談等窓口（精神保健福祉センター、保健所、県警察等の行政機関やDARC等民間支援団体）について掲載。
相談フォームからメール相談も可能。

相談フォームから相談する

相談内容